

しみずクリニックふさ ふさからの便り



今月号は前号に引続き9月23日～24日のふさの会旅行について感想を寄せていただきました

ふさの会 道中記

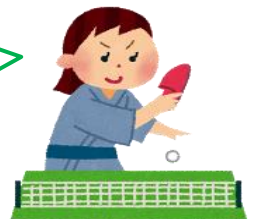
山崎 宏&ルミ子 記

楽しかった。ひとことで終わってしまいそうなので、道中記のような形にしたいと思います。夜半からの雨は朝には上がり、皆さま楽しみの「ふさの会旅行」の始まりです。幹事の舘野さんは朝からハイテンションで皆さんの紹介や冗談で緊張を一気に吹き飛ばします。一路九十九里へ。最初の目的地は菅原ガラス（クリニックにも展示されていますよね）。繊細なワイングラスやダイナミックな食器等が展示されています。真っ赤なガラスを操る職人さんたちは、若い人や女性が多いのが意外でした。



さて楽しいな昼食は “やなぎや”さんへ。大きなハマグリ・エビ・ホタテ等の海の幸がいっぱい！食後は近所にある窯元へ。月の庭窯は昔ながらの松の薪を燃す窯元。作業所の棚の片隅に、JBLのスピーカーと4弦のコントラバスが置かれ、これは主のただならぬジャズへの愛…。主の小暮隆之氏はジャズを聴きながらの作陶に、その作品からジャズの音色が聴こえてくるような気がしました。小暮氏の奥様が点ててくださった抹茶の美味しかったこと。地続きにある望月貞子美術館へ。地元の画家、故・望月貞子さんの作品が数多く展示されて、くつろげる空間にもなっています。

そしていよいよ 宿泊地である「サンライズ九十九里」へ。到着早々、卓球大会。理事長がこの日のために用意したラケットが行方不明と大慌て！普段の冷静さから思いもよらないカワイイ一面も。見つかったマイラケットで華麗（加齢ではない）にスマッシュを決める理事長。皆さん徐々にギアを上げて球は左右上下に弾け飛び、会場は大興奮と笑いに包まれ、それはそれは楽しい思い出になりました。



続いては この度の一番の目的である勉強会。低血糖についてや普段の疑問など、質疑応答があり有意義な時間を過ごせました。それから食べても食べきれない豪華な夕食。食事をしながらの自己紹介は“人に歴史あり”とそれぞれの人生に触れることが出来…九十九里の夜は更けました。

2日目は九十九里を散策。 天気明朗なれど波高し。その後再びバスに乗り、青いポストのあるお土産屋さんへ。地元の海の幸やら新鮮な野菜・果物が購入できました。キナリのトマトを食べましたが、それは甘くて美味。お昼は「ブルーベリーヒル勝浦」のビュッフェへ。お城のように豪華な部屋で芝生の美しい庭を眺めながらの食事です。最後の食事なので、思い残すことがないようお皿に山のごとく盛り、普段の節制も忘れ食べました。



食後は芝生の庭で サッカーゲーム。舘野さん手作りのサンタポールへ向けキック。皆さん子どもに戻ってわいわいがやがやと“シンケン”に勝負。いよいよ最後の人になりました。この度バスの運転をしてくださった渡辺さんです。スポーツマンの渡辺さんは決して付度する人ではありません。思いっきりボールを蹴りました。帰路のバスの中はビンゴゲームで大盛り上がり。2日間の夢を乗せてバスは一路さいたまへ…。